

第1日午後 第1会場 特別講演

I F R S財務諸表の投資家への役立ち

山田辰己(有限責任あずさ監査法人パートナー:前 I A S B理事)

本講演では、「I F R S財務諸表の投資家への役立ち」というテーマの下、次のような点について触れることとしたい。

- (1) I A S Bにおける I F R S作成時における投資家志向
 - ・ 投資家の意思決定のための情報の提供という基本姿勢について
- (2) アナリストの意向の反映の難しさ
 - ・ アナリストからのコメントの少なさ
 - ・ アナリストの意見の多様性
- (3) 原則主義の I F R Sの下における財務諸表の作成実務
 - ・ 原則主義の下での財務情報の特徴
 - ・ 業界単位での会計慣行の定着へのアナリストの果たすべき役割
 - ・ 比較可能性の確保との関係
- (4) 統合報告と I F R Sとの関係
 - ・ 国際統合報告のフレームワーク（コンサルテーション・ペーパー）との関係
- (5) 最近の I F R Sに関する日本国内での動向
 - ・ 2013年6月に公表される企業会計審議会の報告書及び自民党金融制度調査会企業会計小委員会報告の提案について
 - ・ その背景
 - ・ 今後の日本における I F R Sへの対応